ボランティア通信

No. 122

ボランティア・センターおくたま

社会福祉法人
奥多摩町社会福祉協議会
奥多摩町氷川199
（福祉会館１階）
電　話：(0428)83-3883
ＦＡＸ：(0428)83-2567
E-mail：borasen@okusyakyo.or.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://okusyakyo.or.jp/

開所時間
月曜日～金曜日
午前8時30分～
午後5時30分

ドクター片倉のここだけの話

ボランティア・センターおくたま
運営委員会　委員長
双葉会診療所　院長　片倉和彦

トンから始まる物語

妻は種からリンゴの木を育てたりしている。26年前、息子が小学校から持ち帰ってきたチャボの卵を妻はカップめんの容器に入れてこたつで温めて卵を動かしていた。妻は卵を見る技も持っていて懐中電灯を当てて「血管が出てきた」「ここまで育ったところで止まってしまった、残念」と。その話を聞いた教頭先生が学校の孵卵器を貸してくれて、それでチャボが孵って８匹育てて学校に持っていった。

東京多摩学園からいただいたウコッケイの卵が三つ孵った。妻の判定で雌が２羽、最後に孵ったのが雄である。少し大きくなって外に出していたら姉がさらわれ、しばらくしてもう一羽の姉がさらわれた。雄だけが残り、トンと名付けた。トンは人中で育てられたためか人には目を吊り上げて噛みつく蹴るやつだったが、裏のカヤのところを大家さんの許可を得て掘り返してミミズをやると喜んだ。根っこが取れていい土になっていたので片倉は初めて畑に取り組んだ。最初のうち雑草キバナコスモスを残してトマトを抜いてしまったりして妻を呆れさせていたが畑は今も続いている。

さて、トンも寂しいだろうということで、東京多摩学園から雌鶏を２羽いただいてきてチンとカンと名付けた。３羽は仲良く暮らし、娘のトカが生まれ、そのトカがたくさんのひなを孵して、で、我が家のウコッケイは15年ほど続いた。その間、片倉が小屋に入り込んだ野良猫と格闘した話とか、身体が小さくていじめられていた雌を体が大きくて静かだった雄と２羽で過ごさせたら幸せに過ごした話とかいろいろなことが起きた。ほんの小さな穴からテンが入ってしまって、それ以降は鶏を飼っていない。

ボランティア　リレートーク

栃久保ママさんクラブ
奥多摩指圧奉仕会
橋詰良江

栃久保ママさんクラブ活動方針の大きな柱のひとつが、ボランティア活動であり、私はその中で微力ながら活動させていただいています。当クラブは社会福祉協議会への協力はもちろん、地元栃久保でも自治会館清掃、神社境内周辺の除草等、誰が見ていようが見ていまいが、皆さんが進んでコツコツ活動されています。

これらの経験を通して、私にとってのボランティア活動とは、共に喜ぶことだと考えます。初めてのボランティアは、ママさんクラブとして参加した福祉運動会です。屋台の手伝いや選手入退場のサポートをすることができました。保健推進員時代に、デイサービスご利用者お花見外出イベントで、車椅子介助を教えていただく機会がありました。これが、老人ホーム盆踊りで、車椅子の方の介助に役立てることができたのです。楽しい思い出がいっぱいです。そのたびに、出会いがあって会話があって知らなかったことを教えていただ

（次ページ続く）

き、喜びいっぱいです。もちろん、相手も喜んでいただけるように心がけることを課題にしています。

私は子供の頃から漠然と福祉の仕事がしたいと思っていました。しかし縁あって栃久保ママさんクラブに入会することができ、蒼蠅も駿馬の尾についていれば、千里の遠方へも行くことができるように、ママさんクラブ員としてのボランティア活動が多少なりともできるようになりました。菊池恭子会長の勧めで、念願の「奥多摩指圧奉仕会」にも入会することができ、デイサービスの指圧ボランティアにも行かせていただくようになりました。

時間的に余裕ができたこれからの人生は、できるだけボランティア活動を優先して、共に喜びになる時間を、共に楽しんでいけたら幸いです。

つぎは「手話サークルもみじ」で活躍されている佐藤舞子さんにバトンを渡したいと思います。

▲橋詰良江さん

ボランティア活動始めませんか？

地域ささえあいボランティア事業

高齢者・障がい者世帯など、一人で外出することが困難な方への送迎支援、家での見守り支援などを行う事業です。

この事業は、「有償ボランティア」として登録していただいている町民の方の協力で実施しており、買い物や医療機関への送迎支援、家での見守り支援など、ご協力いただけるボランティアさんを募集しています。

外出に困っている方のために、空いた時間を活用してお手伝いしてみませんか？

詳しくはお気軽に問い合わせください。

問い合わせは、社会福祉協議会
電話８３－３８５５

配食サービス事業

高齢者在宅サービスセンターで毎週、月・水・金の夕食（お弁当）を高齢者の方々へお届けする事業で、町内全域にわたり約60名の方にお食事をお届けしています。

このお食事を届けていただけるボランティアさんを募集しています。

〔活動内容〕
古里地区、氷川地区、小河内地区へのお食事の配達と利用者の安否確認。
古里地区は文化会館へ、氷川地区、小河内地区は高齢者在宅サービスセンター（保健福祉センター２階）に集合していただき、利用者宅へお食事を届けていただきます。

〔活動時間〕
毎週、月・水・金の午後４時～５時頃までで、週に１回でもご協力いただければお願いします。

問い合わせは、高齢者在宅サービスセンター
電話８３－２７６１

夏体験ボランティア　お疲れさまでした

▲古里保育園（プールでの見守り）

▲氷川保育園　（水遊び 見守り）

▲寿楽荘（ゲームのお相手）

▲高齢者在宅サービスセンター
（レクリェーションの補助）

昨年度から再開しました、「夏体験ボランティア」を今年も７月２０日から８月３１日にかけて行い、小学５年生から中学生の方まで２２名が参加しました。

今年の夏は特に暑かったのですが暑さに負けず、保育園や高齢者施設、障がい者施設など、さまざまな場所でそれぞれが年齢にあった積極的な活動をされていました。

ボランティア活動をしたことにより、さまざまな人との出会いやふれあい、交流などの体験を通じて、これまでにはない気づきや学びがあったと思います。

みなさんには、これからさまざまなことを経験できる機会がたくさんあると思います。この体験を通じて、よりボランティア活動に関心を持っていただけたらと思います。

夏体験ボランティアを実施するにあたり、ボランティアを受け入れていただき、ご指導、ご協力を賜りました各施設に感謝申し上げます。

参加されたみなさん、また来年お待ちしています！

参　加　者　数　（人）			
	男	女	合計
小学生	３	１０	１３
中学生	２	７	９
合　計	５	１７	２２

ご協力いただいた施設

○古里保育園
○氷川保育園
○寿楽荘
○琴清苑
○グリーンウッド奥多摩
○シルバーコート丹三郎
○東京多摩学園
○かもんみ～る
○高齢者在宅サービスセンター